

# 高いコスパが評価される 連続金賞のスピーカー

べら30万円未満というお求めやすい価格帯のスピーカーで、ここ数年VGPアワードを席巻するブランドがあります。それがPOLK AUDIO（ポークオーディオ）です。激戦カテゴリーでも連続金賞を受賞するほど評価が高く、コスパの高さは目を見張るものがあります。ここでは「R700」をピックアップし、連続金賞を受賞した理由を解説します。



**金賞** スピーカーシステムフロア型  
(ペア20万円以上30万円未満)

**金賞** スピーカーシステムフロア型  
(ペア20万円以上30万円未満)

スピーカーシステム

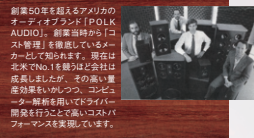
## POLK AUDIO R700

¥132,000(税込/1本)

**SPEC** ●型式：バスレフ型 ●ドライバー：25mmピッチフルレンジグラジエーター・ツイーター×1、165mmタービンコン・ウーファー×2 ●再生周波数帯域：20~50,000Hz ●インピーダンス：4Ω ●総重量：88kg(1.82W/1m) ●外形寸法：330W×1,148H×420Dmm ●質量：35.9kg

**POLK AUDIOとは？**

北米でNo.1を競うメーカー



創業50年をえるアメリカのオーディオブランド「POLK AUDIO」が、徹底したコスト管理を徹底しているメーカーとして知られます。現在は北米でNo.1を競う会社は成長しましたが、その卓越した生産効果もいつか、コンピュータ解析を用いたドライバー開発を行うことで高いコストパフォーマンスを実現しています。



音が籠らず明快な音。低域も響くオールラウンダー

VGP審査員 大橋伸太郎

VGP2024では、アメリカのスピーカーブランド、POLK AUDIO(ポークオーディオ)がビジュアルオーディオ部門の5つの価格セグメントで金賞(部門1位)に選出されました。日本でのトップエントリになるReserveシリーズからブックシェルフ型のミッドレンジ「R200」が金賞を受賞。フロア型の「R700」では期間連続金賞に輝きました。ミドルクラスのSignature Eliteシリーズでは「ES50」と「ES60」が3期連続金賞の快挙。さらに映像音響部門ではエンリッチクラスのMonitor X1シリーズの「MXE600」も選ばれました。シリーズを超えて評価されるポークオーディオの魅力と強さはいったいどこにあるのでしょうか？

ひとつは、明快な音のキャラクターとほれない個性にあります。グローバル化、生産の国外移転、音楽とリスニングスタイルの変化が重なり、スピーカーは20世紀にみられた生産国による音の個性の違いが薄れました。ポークオーディオはそうしたグローバル化の流れを捉えつつも、世界の音楽産業、映画産業(ジョーズ)の圧倒的中心アメリカのスピーカーの血筋がしっかりと息づいているのです。一言でいうとそれは「伝えること」。ホールの隅々まで聴き手の一人一人に歌や演奏、セリフを届けようと自らに課しています。そのためには指向性が広く、音が籠らず、明快な音質が求められます。取り寄せた音でなく、ありのままを伝えるリアルイズム。ポークオーディオのスピーカーは価格レンジを問わずこの特長が一貫しています。

もうひとつは、同業時代以来の「良品思想」です。ポークオーディオはジーンズ・ホプキンス大に学ぶ音楽を愛する若者たちが「学生にも買えるスピーカーを」という想いで1972年に創業。50年が過ぎてもアメリカ有数のメーカーになっても却心は変わりません。北米No.1を競うという高い競争効果も徹底したコストを意識した独自技術により、スペックの近似した他社製品と比較しても低廉を実現しています。

現在日本で買うことができるポークオーディオは、素直でけれん味のないベーシックなMonitor XT、低音再生効果に注力し活気に溢れた音楽が楽しめるSignature Elite、最初に日本市場に導入された上級ラインReserveの3ライン。ここでは「フロア型(ペア20万円以上30万円未満)」のカテゴリーで2連続金賞を受賞中のReserve R700を紹介しましょう。

タービコン、リングラジエーター等、北米で展開される最上位「Legendシリーズ」の構成要素を移入し、デザインに新機軸を導入した中核ライン「Reserve」R700は空気を整しロードバリアンブローワーが共振を排除できる「X-Portテクノロジー」を搭載。エンクロージャー底部にバスレフポートが開くダウンファイアリング方式のフロア型システムです。

ポークオーディオはシリーズを問わず低音の再現を重視しますが、R700はダブルウーファー(バラル駆動)の威力が際立ちます。ジャズホーカルは、ピアノ和音のずっしり立ち厚みに驚かされます。一方歌声の浸透力が豊かで視聴室の空気を華やかに染め上げます。リングツイーターの広帯域と広指向性、レスポンスに優れたこの証左。ビッグバンドジャズは、楽器群がバンスより前に出揃い、引っ込んでしまう音がありません。キャベネットの確かな設計と余裕が響きます。

ザ・ローリング・ストーンズの新作をR700で聴きました。一曲1分45秒のタイトなドラムスに心奪われます。楽器数が少なとR180間の密度が高く、ギターはエネルギーと熱量豊か、音が籠らず広がりがあり、電気楽器のディストーションに汚れがありません。パワーポートの効果は巨艦で地響きのような低音が響く限り小かり視聴室を上ります。ピアノコンチネントは高音の粒立ちが美しく、クラシックとの好相性とジャンル、環境を問わないオールラウンダーぶりを証明しました。

ミドルクラスのシリーズも連続金賞に輝く!

シリーズに最適化したドライバーを採用

トップエンドのReserveシリーズに加えて、ミドルクラスのSignature Eliteシリーズ「ES60」「ES50」も連続で金賞を受賞。いずれもフロア型で「R700」と同様、高いコストパフォーマンスが評価されました。特長は「学生でも買える」を徹底して守った設計にあります。POLKはそもそも、ベストインクラスのサウンドを低コストで実現するために研究・開発を日夜行っています。そのためブランドで共通するのはポート技術など、キャベネットの設計部分には多いのですが、コストに大きく影響するドライバーなどは価格帯に合わせたものを独自開発しています。こうしたコストへのゆるなき探究心こそがPOLKの魅力であり、どのシリーズも高い評価を得ています。



スピーカーシステム  
**POLK AUDIO  
ES60**

¥82,500(税込/1本)

**SPEC**  
●外形寸法：297W×1,130H×402Dmm ●質量：23.6kg



スピーカーシステム  
フロア型  
(ペア10万円以上20万円未満)



スピーカーシステム  
フロア型  
(ペア10万円未満)



スピーカーシステム  
**POLK AUDIO  
ES50**

¥48,400(税込/1本)

**SPEC**  
●外形寸法：262W×950H×281Dmm ●質量：14.5kg



スピーカーシステム  
フロア型  
(ペア10万円未満)



スピーカーシステム  
フロア型  
(ペア10万円未満)